

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社エイ・ケイ・ケイ
施設名	札幌モンテッソーリこどもの家
報告者（役職）	山田 七緒（園長）
住所・連絡先	札幌市中央区大通西 20 丁目 1-3 コンチネンタル ZONE ビル
	☎ 011-558-7068
	E-mail info@sapporo-montessori.com

○タイトル（保育計画）

『絵本がつなぐ親子の絆づくり』～絵本だいすき！～

○主な助成備品

机椅子セット、絵本棚、絵本

1. 保育計画策定の目的

子どもは絵本が大好きです。目で見て、耳で聞いて、想像を膨らませて、更なる新しい世界を知ることによって、物、人、考え方、職業などの多岐に渡る知識を習得し、豊かな想像力をも育みます。“視覚”や“語感”に良い絵本、子どもが生活習慣を身につけていく上で、ヒントになる絵本、想像力や豊かな心を育む内容の絵本、親子の会話がはずむ絵本を園で購入させていただき、園での読み聞かせだけでなく、家庭へも貸出しをすることで、『親子で絵本と共に過ごす時間作り』のお手伝いをさせていただきたいと考えました。

帰宅後に読み聞かせをする時間をもつことが難しい家庭では、帰り際に園内で机と椅子で読み聞かせできる環境を作り、また、家庭で読み聞かせをする際には膝に座らせてスキンシップを図りながら一緒にページをめくることで、絵本を通して親子共にリラックスした状況を生み、もっともっと良い関係を築き上げてもらいたいと思います。

また、保育園においては、絵本を読むための一連の所作（絵本を棚から持ってくる→片づける、椅子に座って机上の本を読む、椅子を引く→元にもどす等）によって、「基本的生活習慣」と「正しい姿勢」を身につけることができると考えました。

2. 具体的な実施内容

① 保育園での読み聞かせに活用 ～なじみの絵本～

子どもは「新しい絵本」も喜ぶますが、繰り返し読む「なじみの絵本」も極めて好きです。そのため保育園は貸出し図書として購入した本も積極的に読み聞かせに利用して、帰宅前、または各家庭での読み聞かせの際に「なじみの絵本」となるよう活用しています。



みんなで一緒に絵本の時間☆



時には年長児が読み聞かせ



「はい、どうぞ！」

② 帰宅前の読み聞かせ ～子どもと過ごす時間作り～

保護者にとって、帰宅後の時間は、夕食準備、片づけ、入浴、洗濯、寝かしつけ、翌日準備など想像以上に慌ただしく、子どもと一緒にゆっくり過ごす時間をなかなか取ることができません。そのような方には保育園の机と椅子でほんの数分、1冊の「絵本」を読む時間を共に過ごしていただいています。

また、個別の椅子と机を使用して、基本的な生活習慣の習得にも役立っています。



絵本選び



正しい姿勢での読書



帰宅前のひととき☆



椅子を戻す



お片付け



③ ご家庭への貸出し ～親子のスキンシップ～

1. 1回1冊、貸出し期間は1週間とします
2. お気に入りの絵本バッグを用意してもらい、絵本を借りる楽しさにつなげています

【絵本選び ～ 絵本バッグへ入れるまで】



「どれにしようかなあ??」



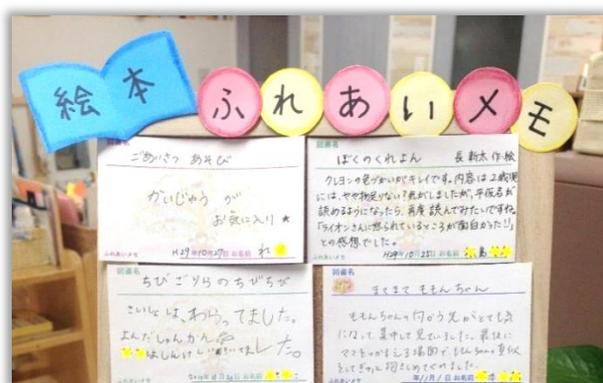
「うーん。これだ!」



準備万端! 「お家で読もうっと」



3. 家庭での“お約束ごと”を決めて、ルールを守って読み聞かせをします
 (ex. 絵本を読み終わったら親子で「ぎゅーっ！」とスキンシップ…など、決めたお約束ごとは親子で守りましょう)
4. 『ふれあいメモ』を用意して、保護者に絵本の感想や子どもとの様子など、自由記載をしてもらいます
5. 『ふれあいメモ』を掲示することで、絵本の紹介や感想、保護者間の交流に役立てています



3. その成果と評価

延長保育で帰宅が遅くなるのが頻繁にある家庭でも、図書の貸出しによって、保護者の方々からは「週末にゆっくり、じっくりと子どもと一緒に読む時間を作ろうという気持ちになり、本当によかったです。」「最初は、『ふれあいメモ』を書くことが苦痛になると思っていたのですが、かえって、本のあらすじや意味、ことばや色づかいに気を付けて読んだり、子どもとお互いに感想を言い合ったりできて『ふれあいメモ』の本当の意味がわかった気がします」などという感想をいただきました。

また、他の方が書いたふれあいメモを読んで「この絵本を読みたいくなりました」などという感想もいただいております。

本棚、机、椅子も、それぞれ子どもたちが正しく使うことで、一連の動作が生活習慣の一部となり、日常の保育にも大いに役立つこととなりました。

4. 今後の課題と展望

この度の申請時には「地域子育て支援での絵本の活用」を挙げていましたが、未だ実践に至っておりません。購入させていただいた沢山の絵本を、園内外のすべての子どもたちに“目には見えないけれど大切なこと”（人との関わり方や優しさ・思いやりなどをはじめとしたたくさんの大切なこと）を伝えるツールとして活用していきたいと考えています。

今後、近隣に「地域子育て支援」の活動スペースを確保できる予定のため、その場を有効に活用し、読み聞かせのボランティア（登録制）による『絵本の時間』を設け、絵本を通じて、園内外が一緒に活動できる『地域の子育ての輪』を広げていきたいと思いをします。

この度は助成決定いただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

以上